

会 議 録

会議の名称	第53回小金井市公立保育園運営協議会次第	
事務局	子ども家庭部保育課	
開催日時	令和2年6月27日(土) 午前10時00分～11時00分	
開催場所	市役所本庁舎3階 第一会議室	
出席者	五園連	宗片 匠 委員 (くりのみ保育園) 鈴木 丈士 委員 (くりのみ保育園) 大島 康宏 委員 (わかたけ保育園) 間 綾乃 委員 (小金井保育園) 中 英弘 委員 (小金井保育園) 本間 義顕 委員 (さくら保育園) 小林麻意子 委員 (さくら保育園) 大越 郁子 委員 (けやき保育園) 角田 真理 委員 (けやき保育園)
	市	大澤 秀典 委員 (子ども家庭部長) 三浦 真 委員 (子ども家庭部保育課長) 平岡 良一 委員 (子ども家庭部保育政策担当課長) 杉山 久子 委員 (わかたけ保育園園長) 小方 久美 委員 (小金井保育園園長) 柴田 桂子 委員 (さくら保育園園長) 池田由美子 委員 (けやき保育園園長)
欠席者	佐藤 公美 委員 (わかたけ保育園) 前島 美和 委員 (くりのみ保育園園長)	
傍聴の可否	(可) ・ 一部不可 ・ 不可	
傍聴者数	9人 ※会場の関係から、次期運営協議会委員のみ	
会議次第	1 開会 2 議事 (1) 議事録について ア 前回会議録の確認 イ 今回会議録の確定方法について (2) 第Ⅲ期の締めくくりについて ア 第Ⅳ期への申し送りについて (3) その他	
発言内容・ 発言者名(主な)	別紙のとおり	

発言要旨)	
会議結果	<ul style="list-style-type: none"> 1 開会 2 議事 <ul style="list-style-type: none"> (1) 議事録について <ul style="list-style-type: none"> ア 前回会議録の確認 イ 今回会議録の確定方法について (2) 第Ⅲ期の締めくくりについて <ul style="list-style-type: none"> ア 第Ⅳ期への申し送りについて (3) その他
提出資料	<ul style="list-style-type: none"> (1) 資料241 小金井市公立保育園運営協議会設置要綱 (2) 資料242 小金井市公立保育園運営協議会まとめ資料（第Ⅲ期：平成30年4月～令和2年6月）
その他	なし

第53回小金井市公立保育園運営協議会 会議録

令和2年6月27日

開 会

- 大澤委員長 それでは、ただいまから小金井市公立保育園運営協議会の会議を開会いたします。
- 本日は佐藤委員と、前島委員よりご欠席との連絡を頂いておりますので、まず、冒頭ご報告をさせていただきたいと思います。
- 開会に当たりまして、私のほうで2点発言をさせていただきます。
- 本日の会議は、本来第Ⅳ期の期間となるところ、新型コロナウイルス感染症の関係から、Ⅲ期、最後の会議であった3月の会議が開催できなかったことを踏まえまして、要綱のほうを改正させていただき、第Ⅲ期の委員の皆様様の任期を6月まで延長して、第Ⅲ期の締めくくりとして本日、会議を開くものでございます。
- 次に、傍聴についてでございます。
- 市では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、使用します会議室の定員の半数以内で会議を運営することといたします。そのため、会場の関係から、今回の会議の傍聴は、次期運営協議会委員の方々のみとさせていただいております。
- 以上2点につきまして、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。
- それでは、議事の（1）会議録についてのア、前回会議録の確認についてを議題といたします。前回の会議録につきまして、委員の皆様様に校正をお願いいたしました。ご依頼からかなり時間が経過しておりますので、校正依頼させていただいた会議録を机上のほうに配付してございます。以前に校正をお願いした際、提出期限までに事務局宛てに訂正等の連絡は頂いておりませんでしたので、前回の会議録につきましては、校正依頼した内容をもって確定させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。よろしいですか。

（異議なし）

- 大澤委員長 それでは、ご異議がございませんので、確定とさせていただきたいと存じます。
- 会議録につきましては、速やかにホームページに公開させていただきたいと存じます。
- 次に、イの今回の会議録の確定の方法についてを議題といたします。
- 本日は、第Ⅲ期最後の会議となるため、本日の会議録の確認、確定の方法につきまし

ては、第Ⅳ期の会議で行うものではなく、会議録の校正準備が整い次第、第Ⅲ期の委員の皆様へ郵送し、期限までに修正等があれば、それを反映させた上、事務局のほうで確定させていただき形とさせていただきたいと思っておりますけれども、皆様方よろしいでしょうか。

(異議なし)

○大澤委員長　ご異議がございませんので、先ほどご説明をさせていただいた方法で確定とさせていただきます。

次に、(2) 第Ⅲ期の締めくくりについてを議題といたします。

こちらのほうにつきましては、保護者委員の方々より、たたき台を作成していただき、市のほうとも何回か確認を重ねたものを資料242として、本日の会議に提出してございます。本間委員長のほうで、説明、補足等よろしくお願いいたします。

○本間委員長　さくら保育園、本間です。

それでは、お手元の資料242をご確認ください。私のほうから簡単に構成、あと、概要についてご説明をさせていただきます。

まず、1番目、協議経過のところなのですが、第Ⅲ期に入るまでの間に、そもそも第Ⅱ期の最後、中段のほうです、第40回会議のところで「公立保育園民営化に関する説明資料」、こういう形で公立保育園の民営化をしていきたいということで概要が示されて、それについて、公立保育園の運営協議会で民営化について協議をしていきたいというようなご提案を市のほうから頂いた。それを受けて、第Ⅲ期が始まったというのが、まず第Ⅲ期の経緯になっています。

では、それを受けて(2)のところ、第3期はどうなったかということなのですが、この第40回会議で示された概要のところについて、保護者委員からすると、いろいろと分からない点が非常に多かった。特に、運営協議会が何を求めているのか、運営協議会でどうやって何をどこまで議論しようとしているのかというようなところが、非常に不明確であったので、そこについて、さらに深めてご提案を頂きたいというようなところを第Ⅲ期では最初に申し上げているところです。

ただ、残念ながら第Ⅲ期の間ではそこがなかなかすり合うことができず、結果、2番目、協議内容というところに議論の進め方に関してというのがあるので、2行目です、第Ⅲ期での協議内容についてということで、第Ⅲ期で一体どのようなことを、どんな順番に議論していくべきなのかというところの調整ができないまま第Ⅲ期が終わ

ったというような経緯があります。

なので、まとめ資料としても第Ⅲ期では、例えば、民営化の議論をする場合に、運営協議会でどのような順番で、どのようなことを話していくのかという計画立った議論ができていないので、2の(2)協議内容についてというところについては、体系立った議論はできていないことを前提に、ただ、ポイントを絞って重要だと思われるような発言等も幾つか出てはいたので、そこについて保護者委員のほうでまとめさせていただいたというものになっております。なので、第Ⅲ期の内容については、申し訳ないのですが、体系立ったところでの全体を見通せるようなまとめ資料とは、ちょっとなっていないのですが、ピンポイントで必要そうなところ、あと、資料の目次としても使えるようなことを期待して、まとめ資料を作成させていただいたというようなところになります。

全体の概要と、あと、趣旨のご説明は以上になります。

○大澤委員長 ありがとうございます。

それでは、資料242につきまして委員の皆様から何かご発言等がございましたら、お時間を取りたいと思いますので、よろしく願いいたします。

小林委員。

○小林委員 さくらの小林です。

ここのⅢ期について、そもそも運協の場において、保護者に何を、どこまで議論することを望んでいるのか、そのゴールについて、設定がどうか、なされないまま、いろいろ各論で進んでいったということなのですが、これはⅣ期も引き続き、いろいろ市と保護者の考え方の違い、保護者の指摘に対して市から明確な回答はないまま会議が進んでいったということについて、Ⅳ期については、この点を解消しながら、保護者から何の回答を求められているのかというのをすり合わせながら、Ⅳ期は引き続き続いていくということかと思っていますか。

○平岡委員 保育政策担当課長です。

今回、申し送りをまとめていっている中で、Ⅳ期に向けてどういう形でというようなことも含めてのご質問かなというふうに思っています。市のほうとしても、Ⅲ期の中で皆様方からかみ合わないというようなお話を頂いた部分については、Ⅳ期の中でのなるべくそういうところを減らしていく努力というのは当然必要だというふうに思っていますし、今、頂いた意見も含めてⅣ期の会議の中でお話を前向きにできればなというふうな

考えは持っておりますので、そういった部分もⅣ期開催に当たって、新しい委員の方々と、またお話ができればというふうに市のほうとしても思っています。

○大澤委員長 小林委員。

○小林委員 小林です。

では、次回のⅣ期の初めの会議で、この点をまず大前提としてどういうふうに解決しておこうとか、どういうふうに保護者との意思疎通みたいな、擦れ違いをすり寄せていこうかみたいな議題から入ると思っていいいのですか。

○大澤委員長 平岡委員。

○平岡委員 平岡です。

そうですね。これまでの経過も含めると、そういう部分からお話をしていくという形もあるかと思っていますので、そこは、Ⅳ期がスタートした時点で、Ⅲ期の経過を踏まえてそういった部分のお話も含めて、Ⅳ期の中でご相談をしていくという形で進められればと思っています。ただ、2年間このような形でやらせていただいて、なかなかそのところが難しかったなというふうに私も実感していますので、どのようなやり方をしていくのが、よりお互いに話をつなげていけるかというのは、Ⅳ期の方々と、またご相談させていただければというふうに思っています。

○大澤委員長 小林委員。

○小林委員 そうすると、Ⅲ期のときにちょっとお聞きしていた民営化についてのスケジュールなのですが、2024年から民営化ということが出ていて、引継ぎに1年間、業者選定に6か月以上というのをお聞きしていたと思うのですが、それを逆算すると、もうそろそろ募集なのかという時期になるんですけど、その辺は、それをやるには、全然、保護者と話し合いはできていないような状況だったと思うんですけど、それについては一応、どうなんですか、Ⅳ期の初めから、このままいくとⅣ期の初めは募集要項の段階で話が決まっちゃうことになっているのかと、ちょっと心配をしているんですけど、どうなんですかね。

○大澤委員長 平岡委員。

○平岡委員 平岡です。

民営化のスケジュールについては、何度かお示しをして、見直しであったり、より粗いスケジュールを出させていただいたこともあったかなと思っています。

現在の市の状況を申し上げますと、昨年11月に民営化自体について、スケジュール

の見直し等を含めて必要な見直しを行っていくような話を議会のほうで、市長のほうからさせていただいた状況があります。それに対してどうなったかというアウトプットをまだ出している状況ではないところですので、スケジュールとして表向き変更はかかっていないままではあるんですけども、現実的にあのスケジュールのまま行くという考え方にはならないと思いますので、それらの状況も踏まえながら皆様と引き続きお話をしていくことになるかなと思います。

なので、結論的に申し上げますと、あのスケジュールを念頭に置いた形で、Ⅳ期に入っていくというような形にはなかなかならないのではないかというふうには思っております。

○小林委員 分かりました。

○大澤委員長 ほかに、ご発言のある委員さんはいらっしゃいますでしょうか。
大島委員。

○大島委員 わかたけの大島です。

今、平岡委員からご答弁ありましたように、民営化のスケジュールに関しては決まっ
てはいないけれども、延びる方向ですという、今、お話を頂きましたが、これは、恐ら
く今日ではなくて、前の協議会の中でも同じような答弁を実は得られたと私は思ってい
まして、何を言いたいかといいますと、そのときは、現時点では延期の予定はありませ
んという明言をされていました。そうではなくて、確定はしていないのですけれども、
そういう協議を進めていますということを私たちに言っていただければ、あ、そういう
もんだなと私たちも理解できましたし、そこのところはすごい感覚として、私はずれが
あると思っております。全く進めていないのかというところを実は進めているという、
大きな違いがありますので、できれば今日のようなご答弁を今後、頂けると、表向きと
いうか、確定はしないのですがこういうふうに進めていますということ頂ければ、私
たちもそれに応じた議論ができると思いますので、今後そのようにお願いしたいと思
います。意見です。

○大澤委員長 では、ご意見という形で承らせていただきたいと思います。

ほかにご発言ございますでしょうか。

大越委員。

○大越委員 けやきの大越です。

今、保育計画策定委員会で、ちょうど公立保育園の役割についてというところを協議

していると思うんですけども、やはりあの場では、民間・公立問わずに保育計画をつくっていているのですよね。なので、あの場で公立保育園の役割だけについてを協議することは不可能で、ぜひ、この運協の場でそういうところの議論について深めていただきたいんですけども、いかがでしょうか。

○大澤委員長 平岡委員。

○平岡委員 平岡です。

これまでと同じような、運営協議会の会ということでは理解して受け止めますけれども、IV期の時点で、どのような話し合いをしていくのかということについては、今日、頂いたご意見も踏まえながら、IV期の方々とご相談していく形になるかなと思いますので、ご意見の意図としては理解するところなのですけれども、この内容についてもIV期で話をするかしないかというのを、今ここで市のほうでジャッジしていいのかなというのは悩ましいところがありますので、引継ぎに当たっての最後の会議の中で、そういう委員のご発言もあったということも踏まえて、IV期の方々とまたご相談をさせていただきたいというふうに思います。

○大澤委員長 大越委員、よろしいですか。

大越委員。

○大越委員 大越です。

そうですね。ぜひ、IV期の方々とその辺の協議を深めていただいて、多分、民間の先生もあそこで議論を深めることはできないというお話でしたので、民間・公立それぞれでどういう役割があるのかということについては、それぞれがちゃんと深く協議していくところだと思いますので、その辺は、ぜひIV期の方々と協力してご検討いただきたいなと思いますので、よろしくをお願いします。

○大澤委員長 ほかにございますでしょうか。

宗片委員。

○宗片委員 くりのみの宗片です。

前回の1月の会議のときに、市側からもう説明するような内容がないというので資料は出てはこなかったと思うんですけども、今現時点でも市側から説明するような、議論したい内容はないという理解でよろしいでしょうか。

○大澤委員長 平岡委員。

○平岡委員 平岡です。

今、多分、議題として民営化の件についてという前提でよろしいですね。先ほどほかの委員の方からご質問を頂いたときにお答えしたのと同じ状況なのですけれども、検討中という状況が継続していきまして、まだ皆様のほうに何らか新たににお出しできる資料はない状況ですので、検討中の中で過去にご説明したもので継続してお話をするというわけにもいかないという考え方の中から、今日の時点でもお出しできるものは、現実的でないというのは変わっておりません。

○大澤委員長 宗片委員。

○宗片委員 今のお話はスケジュールの話なのかと思うんですけど、それ以前に、多分、保護者から、例えば民営化の方向は一つじゃないですよみたいな話も過去には何度か出ていて、民営化のやり方もいろいろあるはずだし、そもそも公立園を減らして2園で大丈夫なんですか、その根拠はあるんですかとか、あとは、そもそも、何回も私も言っていますけれども、ニーズとかという話で、本当にそのニーズはあるんですかとか。延長保育をしてまで公立園が減らしたいと、本当にそうなんですかとか、という話は、私はまだその辺の説明を深くは頂いていないのかと思っていて、多分そういうところのすり合わせからやはり入っていかないといけないかなという話で、小林委員がおっしゃっていたように、まず、どこが保護者として説明不足だと感じているのかとか、もっとご説明いただきたい場所はこういうところだということを、まず最初にやはり議論をした上で資料をお出しいただくのがいいのかなと思うんです。これは意見としてです。

○大澤委員長 ありがとうございます。

ほかにございますでしょうか。

○角田委員 引継ぎ全般でいいですか。

○大澤委員長 今はこの242に関しての質疑、意見等というところでお願いします。

では、今、各委員からもご意見等も頂いたところではございますが、資料242につきまして、一部下線とかを引いてある部分というものは、最終的には削除させていただく形になりますけれども、これを確定するという形をまず1回、諮らせていただきたいと思っておりますけれども、よろしいでしょうか。よろしいですか。

(異議なし)

○大澤委員長 では、まず、この242につきまして、第IV期のほうに引継ぎという形で確定をさせていただきたいと思っております。

(異議なし)

○大澤委員長 　少し休憩します。

休　　憩

○大澤委員長 　再開をいたします。

それでは、次に、その他に行きますけれども、まず、皆様方からの一言に行く前に、引継ぎの方法についてご発言があるというように伺いましたけれども、何かございますでしょうか。

角田委員。

○角田委員 　けやきの角田です。

第Ⅳ期への引継ぎに関してなのですが、我々もⅡ期・Ⅲ期入っていく段階で、やはり協議会が長くなっていくにつれて資料の量も多くなり、それをホームページ上から各自閲覧し、印刷していくと非常な手間とお金もかかってしまうので、可能であればⅠ期からⅢ期までの報告書レベルでも構わないので、そういったものを一つにまとめて第Ⅳ期委員の方に渡していただけると大変助かるんですが、その点はいかがですか。

○大澤委員長 　平岡委員。

○平岡委員 　平岡です。

前回のⅡ期からⅢ期の引継ぎのときにも同様なご要望を頂いております。ただ、角田委員おっしゃっていただいた状況もございますので、Ⅲ期についてはフルセット、Ⅰ期とⅡ期分につきましては、今、お話を頂いた資料を除いた報告書部分のみという形でご準備をさせていただきたいと思います。そういうような形でお渡しをしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○角田委員 　ありがとうございます。

○大澤委員長 　ほかに、その他として委員のほうから、まずご発言ございますか。よろしいですか。

それでは、第Ⅲ期の締めくくりに当たりまして、各委員側のほうから、一言ずつご発言をお願いしたいというふうに存じます。

初めに、宗片委員のほうから、時計回りでそれぞれご発言方、よろしく願いいたします。

○宗片委員 　宗片です。

2年、運営協議会委員をさせていただいて、ほかの自治体のこととかを見ると、保護会がそもそもなかったりとか、こういうふうに市と協議する場がなかったりとかと聞いていて、小金井市はかなり恵まれているというのと、丁寧に進めていただけているとい

うように感謝をしております。

ただ、先ほどの発言でもあったんですけど、やはり保護者が何を不安に思っているかだとか、結局、民営化しても何も本当に何も問題がないと保護者が感じていけば、民間にして本当に大丈夫なのかと不安になることもないので、民間の保育園がそもそも倒産してしまうとか、そういう不安を取り除くようなことを、市側でそういう体制を整えていただくとか、そういう不安を取り除く議論を引き続き進めていただけるとありがたいと思います。ありがとうございました。

○大澤委員長 どうもありがとうございました。

では、続きまして、鈴木委員をお願いします。

○鈴木委員 くりのみ保育園の鈴木です。

私も2年間、運協委員を務めさせていただきまして、改めて感じている点としては、やはり多分、保護者側の意見としては、目的はよりよい保育の在り方についてというところを、要望だったり意見というものを投げさせていただいているという中で、小金井市に関しても、やはり同様に、どうやって保育をより良くしていくかというところの、そのゴールは多分変わらないものの、なかなか、じゃあどうアプローチしていくかというところですれ違った、また、認識の相違であったり、お互いに納得できる形には結びつかなかったのかというのが、この2年間で感じたところでありましたので、そこに関しては引き続き、また次回、次期の運協で議論を進める中できちんとした形で、お互いが納得いく形で進めていただければというふうに考えております。

ありがとうございました。

○大澤委員長 ありがとうございました。

大島委員、お願いします。

○大島委員 大島です。

この運協に関わって2年間で、保育について、社会の中の保育とはどういうものか、市の中ではどういうものかということでしたり、保育に従事している先生方のお話も聞けて、ただ保育園に子どもを預けているというだけではなくて、保育というものは保護者、先生方、市も含めて皆さんでしていくものだというを実感できたと思っています。その点は、理解は深まって勉強させていただきました。

運協に関しまして、2年間ですけど、正直あまり進んでいないのかなという、そこはすごい今となって思っています。この進め方について少し議論したほうがいいのかと私

は2年間やって思いましたが、保護者の意見を吸い上げるということに関しましては、与えられた資料を基に意見を出していますけど、私たちは実はいろいろな疑問だったり考えを持っていて、それはもう少し多角的に出せる場ではあると思っていますので、一つの案としては、保護者のほうもいろいろな疑問を持ち寄って、それを議論するという時間を取っていくと、もう少し実りのある会になるのかということも考えていました。そういうことも含めまして、第IV期は在り方も含めて一度検討いただくといいかと思っております。

2年間、ありがとうございました。

○大澤委員長 ありがとうございました。

続きまして、間委員、お願いします。

○間委員 小金井保育園の間です。

1年間という短い期間ではあったんですけども、こういった機会に関わらせていただいて、もともと自分自身は民間の保育園の保育士として働いたことはあったんですけど、公立保育園の保護者という立場で公立の保育園を見させていただいて、とっても公立保育園のよさを感じておりまして、なかなか民間の保育園だと横のつながりが難しいところがあるのかと思うんですけど、自分自身も子どもが首の座りが遅かったりして、そういうところも早期に対応してくださって、支援センターにつなげていただいたりとか、そういうこともあって、非常に助かった部分があったので、そういった横のつながりとか、公立保育園の役割というもの、非常に公立ならではの大事なことなのかと思っておりますので、決して5園は多くはないと思うんです。できれば維持していただければと保護者としては思っていますので、今後とも前向きな検討をどうぞよろしくお願いいたします。

1年間ありがとうございました。

○大澤委員長 どうもありがとうございました。

続きまして、中委員、お願いします。

○中委員 小金井保育園の中です。

1年間、ありがとうございました。私はこれで任期は外れるのですけれども、1年間参加させていただいて、何も分からない状態から多少は知識は得ることができたと思っています。ありがとうございます。

1年間、皆さんが思っただけでございまして、あまり進展せず並行のまま来たかなと

いうふうには思っているんですけども、今後はぜひ前向きに、いい方向に進んでいただければと思うんですけども、今現在、僕自身は保育には満足しています。どうかこの状況をあまり崩すことなく、ぜひ、いい方向に進めてほしいです。そして、一つお願い事は、ぜひ市の方々には強行をすることなく、双方納得した上で、民営化するなら民営化してほしいと思います。

以上です。

○大澤委員長 ありがとうございました。

では、小林委員、お願いします。

○小林委員 さくらの小林ですけども、私は、昨年、Ⅲ期の1年間だけ役員になりまして、来年Ⅳ期も委員になるんですけども、私はさくら保育園で、やはり民営化について出ているスケジュールが近づいてきたということで、すごくほかの保護者の方から民営化についての関心がすごい高まっているというのを感じていて、いろいろ皆さん、やっぱり民営化を意識して入ってきている方なのでいろいろな意見は持っていて、いろいろな意見をすごく聞くので、その意見を置き去りにしないように、よりすれ違いのない形でお伝えをして、長く運営協議会をやっている中の積み重ねられた資料とか土台がすごくたくさんあると思うので、うまくそれを生かして一緒によりよい議論をしていきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

○大澤委員長 ありがとうございました。

では、大越委員、お願いします。

○大越委員 大越です。

2年間務めさせていただいて、ありがとうございました。

私自身もくりのみ保育園の出身でしたので、本当にすごくいろいろ考えさせられたというか、本当に市の方とか、保育士の皆さんの日頃の努力で保育園生活があったんだなというのをすごく実感した2年間になりました。

公立保育園の保育士さんはすごく頑張ってくださっているなと思っていて、うちも娘を預けていて、子ども一人一人をすごく丁寧に先生たちが見てくださっていて、気持ちの変化にすぐ気づいたりとか、あと、その子に合った遊びを丁寧に考えてくださったりしていて、本当に公立保育園に預けられてよかったというふうに思っています。

公立保育園の今後の役割はすごく大きいんじゃないかなと思っていまして、やっぱり、今、このコロナの影響でいろんな家庭の方、家庭背景がある方が増えてきていると思う

ので、要支援の方とか、要保護の方とか、そういう方をどうやって保育園につなげるかとか、すごくいろんな役割を担っていくんじゃないかなというふうに感じますので、本当に保護者が納得して、公立保育園を今後どうやって運営していくかというところは、ぜひ丁寧にやっていただきたいなと思います。2年間ちょっとやもやしたまま私も参加させていただいていましたので、IV期の方々と、もっと密にコミュニケーションを取っていただいて、ぜひ、いい公立保育園をつくっていただきたいなと思います。2年間ありがとうございました。

○大澤委員長 ありがとうございました。

 では、角田委員お願いします。

○角田委員 けやきの角田です。

 私は、4年間にわたって運協委員を務めさせていただきました。毎回責任の重さを感じては緊張しながら会場に来たんですが、そんな中でも大きく二つのことを学ばせていただいたように思っています。

 まず、一つは、保育はただの預かりでもサービスでもないということです。子どもを預けて仕事に行くと言うと思うのですけれども、仕事などのために子どもを預ける場所が保育園だというふうに思い込んでしまいがちです。または、この運協でも度々、保育サービスというフレーズが出てきたと思うのですけれども、保育が親へのサービスのように受け止められているような現状もあると思います。でも、私はこの協議会に参加をして、保育の質についても学ぶにつれて、それが本当の保育の意味とは大きくかけ離れているんじゃないかなというふうに思うようになりました。

 じゃあ保育とは一体何なのかというと、子ども一人一人の発達過程に応じて、それに対して見通しを持って子どもを育てていくことなんだろうと思いました。単に子どもにとって安全な環境をつくってあげるだけじゃなくて、子どもが健全に発達していけるように教育することも含んでいることを知りました。それを、例えば小金井保育園の小方園長は、子どもの根っこを育てると、見事に表現されていましたよね。つまり、保育士さんの仕事は非常に専門性が高く、保育士免許とマニュアルがあれば誰でも質の高い保育ができるわけじゃないということだと思いました。

 私が委員になってしばらくした後、市内のある私立保育園にお子さんが通っていた保護者の方から、ご自身が経験されたことで問題と思ったことを書き留めたメモを何かの役に立てばと共有を頂いたことがあります。その中には、例えば、子どもが「これを上

げる」というふうには話しかけても、「ちょっと今、先生これ要らない」とあしらったりとか、先生が見ていないところでトラブルがあったけど、それに対しては片側だけの話を聞いて、相手の3歳児の子どもを頭ごなしに責めたりとか、0歳児クラスの遊びにビーズ遊びであったり、白玉のみたらしだんごをそのままの形状で出そうとしたりとか、もし、けががあった場合のお迎えのときに「これはどうしたのですか」と聞いても答えられなかったり、聞かないと調べてくれないというような、なかなか公立保育園に通っている者としては信じられないようなことが書いてありました。確かに国は保育所保育指針という目指す姿をつくってはいるし、各保育園も児童福祉施設の最低基準このとった保育サービスを持ってはいます。また、自治体の認可も通っているわけだけど、どこでも保育の質が高いわけじゃないんだということを改めて実感しました。

一方、今の公立保育園はどうなのかというと、私自身は私立幼稚園出身なんですが、私自身も公立保育園に行きたかったなというふうに今も思えるほど、よい保育を実践してくださいたいです。運協が始まって以来、毎年全世帯アンケートを行っていますけど、そこでも9割以上の方が満足しているという結果を維持しているように、それはまさに、ふだんの保育のたまものであり、納得の結果だと思っています。

市の皆さんも、公立保育園だからこそ取り組まなければいけない役割があると何度もご答弁いただいているように、この共通認識の下、今後も公立保育園の在り方についても、あらゆる可能性を否定せず協議を深めていただければと思っています。

もう一点は、結果が全てだと思えば、よい結果を出したいのなら、なおさらプロセスが大事だということです。何か問題解決をしたいのなら、まず、問題を正しく捉えて、その根本的な原因を突き止めること。ようやくそこからどうやって解決するのかを考えるんだと思います。いろいろな視点から解決策を考えて、ベストな打ち手に絞っていき、最終的に実行プランに落とし込みます。これは大原則的なプロセスで、市役所であろうとも民間企業であろうとも共通だと思っています。

運協に話を戻すと、私たちは実際の保育の中身を知る利用者という立場で、公立保育園の現在はもちろん今後の在り方についても意見を述べていくということで会議に参加してはいますが、公立保育園の今後の在り方については、いきなり民営化という打ち手、一つが示されてきたわけです。先ほどのプロセスでいうと、市がそもそも保育をどうしていきたいくて、そのためにどんな問題や課題があって、それを解決するためにはどんな方法が考えられて、それぞれどんな違いがあるのか、そういった話が全部ぶっ飛んだよ

うな状態で話が下りてきました。ただ、その一つの視点に絞った考えを示されたということは、当然、必要なプロセスを経て、明確な根拠の下、これがベストだという結論に至ったはずです。だからこそ、私たちは3年ほどにわたって、それらの資料や根拠資料の提示を求めてきました。

でも、昨年ですね、まず、必要であるはずの保育に関するビジョンが実は存在してなくて、これからつくりますということが判明したわけです。さらに、その保育ビジョンとの民営化は別の話だから、それとは関係なく民営化はもう進めていきますというふうにおっしゃられたわけです。これに関してはもうプロセスがめちゃくちゃなので、これでいいと市の皆さんが思っているなら、利用者だけでなく市民もプロセスなど分からないだろうと思っているということと同じであって、本当に随分見くびられたものだなと感じています。保育園は大人のためのものじゃなくて、子どものためのものです。子どものためだからこそ、私たち保護者も休日の時間を割いて報酬のない中で参加しているので、この協議自体は全国でも類を見ない、素晴らしいものであると思っています。生かすも殺すも市の皆さん次第だと思っています。これからIV期を継続していくのであれば、このⅢ期のように議題に入ることもできなかったという結末にならないように、きちんと向き合っていただければと思います。

長くなりましたが、4年分話しました。ありがとうございました。

○大澤委員長 ありがとうございました。

では、行政側も、池田委員からお願いします。

○池田委員 けやき保育園の池田です。

お子さんをお預かりする立場の保育園の職員として、この場でいろんな皆さんのご意見を頂いたのは、とてもよかったなと思っています。本当に保育園を理解していただいて、私たちがやっていることが伝わった中で、いろんなご意見を頂いたのは、私たちの今後の励みになるかなと思うし、また、今までの長い時間で頂いたご意見が無駄にならないような形で、次の保育をしていきたいというふうに改めて思いました。

ありがとうございました。

○大澤委員長 柴田委員、お願いします。

○柴田委員 さくら保育園の柴田です。

保護者委員の皆さんのお話を伺っていると、やはり育児をしながら、お仕事をしながら、すごくお忙しい時間の中で、これだけ保育園のことを、子どもたちのことを一緒に

考えてくださっているのだというのを毎回思えた会だったというふうに思っています。皆さんのお話を聞く中で、ここを直していかなきゃとか、これは自信を持って続けていっていいんだというような形で、違った意味でいろんなお話を聞くことができ、すごくこの会に参加することができて、よかったというふうに思っています。

ありがとうございました。

○大澤委員長 では、小方委員お願いします。

○小方委員 小金井保育園の小方です。

本当に保護者の皆さんが保育と現場にすごく理解を寄せてくださっていて、それが本当に心強くて、いつも背中を押してもらっている、支えてもらっているなど感じています。私たちはどうしても視野が狭くなってしまうことが多くて、皆さんのいろんな角度から見たご意見を伺うことができたのは、とっても勉強になりましたし、あ、こういうふうにやったらいいかなとか、いいフレーズをもらったなど感じる場面もありまして、2年間、協議がこんな感じで、本当に皆さんには申し訳ないと思うんですけども、皆さんとご一緒できて、いろんなお話ができたのは、私にとっては貴重で大切な時間でした。

ただ、今、皆さんのお話を伺っていて、私たち、もっと皆さんに伝えなければならないことがたくさんあるなど思っています。皆さんに伝えて、共有しなければいけないことがたくさんあるにもかかわらず、何だかすごくここに座っているのが、Ⅲ期がつかいときもありまして、次期運協を継続していくのであれば、もうちょっと何とかしていかなくちゃいけないなど私も感じました。

2年間、どうもありがとうございました。

○大澤委員長 杉山委員、お願いします。

○杉山委員 わかたけ保育園の杉山です。

本当に保護者委員の皆様お忙しいところありがとうございました。

今3人の話したことと、ほとんど私も同じです。いつも公立保育園や私たちに対して、心を寄せてくださった意見も考えもたくさんここで伺うことができ、皆さんのお仕事も本当に大変なのですけれども、私たちもそこでエネルギーをもらって仕事に当たっているというふうに思っています。今後ともよろしく願いいたします。

民営化のこととか、公立保育園のことに関しての考え方とかを、やっぱりいろんな角度から、私もよく分からない財政のこととか、あとは、ほかの自治体の動かし方とか、

民間保育園の考え方とか、もろもろをここで教えていただいているなというふうに思っています。ここでは、なかなか発言する機会がないんですけども、Ⅳ期に向けて、あと、日々の保育にもそこを生かしていきたいなというふうに思っています。

ありがとうございました。

○大澤委員長 三浦委員、お願いします。

○三浦委員 保育課長の三浦でございます。

私は、昨年度から保育課長ということで着任をいたしまして、皆様と密度の濃い時間を過ごさせていただいたと思っております。その中で感じることは、私自身も小金井に住んでおりますので、小金井の中で子育てをしてみたいなところ、私の娘は認可園のほうでお世話になりましたけれども、保護者の立場と行政の職員という立場で保育を見る目というのは180度違うんだなというところは、改めて認識をしたところでございます。

1年間、特にお役に立てることがあったかどうか、自分でも疑問ですけども、1年間本当にお世話になりました。ありがとうございました。皆様、どうぞお元気でご活躍ください。

○大澤委員長 平岡委員。

○平岡委員 平岡です。

Ⅲ期においては、フル2年間お世話になったなというふうに思っています。中でも、特に議題が民営化が中心の会議になっていたかなというのがⅢ期かなという感想を持っております。その中で、こちらの事務局のほうというか、私どものほうでなかなか様々な面で応えていけなかったところは大いにあったんだなというのを、今日のこの締めくくりの会でも、また皆様からのご発言でも、改めて実感しているところでございます。

とはいえ、このような会の中でそのようなお話を頂いたというのは、今後、これを進めるに当たっても、様々な新事業を進めていく視点において、大変ありがたいことだというふうに思っておりますので、Ⅳ期、今後も行っていく中で、少しでもよりよい形に私のほうでもやっていければというふうに思っておりますので、どうもありがとうございました。

○大澤委員長 それでは、私のほうからも、改めまして皆さん、2年間大変お忙しい中、お集まりをいただきました。その際、貴重な本当のご意見、今日の最後まで頂いたかなというふうに思っております。改めて、皆様方の意向、ご意見等も踏まえて、我々も考えていか

なければいけないというものを改めて認識しました。

次からは、第Ⅳ期の皆様方と、またこのような形で話をしていくという形になるかと思えますけれども、今回、改めて本当に皆様方の思いというものを踏まえて、中でもんでいきたいと思えますので、本当にいろいろありがとうございました。

○本間委員長 定刻を過ぎてしまっているので手短に。

私は、この運営協議会には4年間関わっていて、2年間、委員長をさせていただいていますけれども、まずは、この運営協議会というのは、とても注目度が高くて、ここでの発言が議会で取り上げられることも非常に多いというところがあるので、このⅢ期に関していうと、先ほどの引継ぎ資料にもあったとおり、残念ながら体系立った議論というのがなかなか難しかったわけですが、Ⅳ期に関していうと、ぜひ体系立ててというか、もちろん運協は民営化だけのためのものではないので、民営化以外の議題も含めて、ぜひ実りのある議論をどう進めていくのかというところを深く突き詰めていっていただきたいというふうに思っています。

最後になりますけれども、本日、急遽、運協を開催させていただくに当たっては、要綱の改正等も含めて、市のほうにもいろいろとご調整いただきましたし、また、あと、急遽お休みにもかかわらず日程を調整いただいた委員の皆様、本当にありがとうございました。

運協みたいに市と保護者が直接対話するというのは、先ほど宗片委員のおっしゃったとおりで、ほかの行政ではなかなか類を見ないようなところなので、大変丁寧に進めていただいているのは、それはありがたいなというふうに思っています。

ただ、一方で、先ほど角田委員にもおっしゃっていただいたように、保育というのは市が全て決められるものではないと思っていて、やはり、保育の各現場での日々のニーズというのがあると思えますので、今後も今の姿勢を崩さずに、より保護者と対話を進めながら、丁寧に議論していただければと思いますので、これはⅣ期に対してのお願い事項になります。

以上です。

○大澤委員長 どうも皆様、ありがとうございました。

それでは、閉会につきまして、本間委員長にお願いしたいと存じます。

○本間委員長 以上で本日の日程は全て終了いたしました。会議を閉会し散会いたします。お疲れさまでした。

閉 会